

総務産業常任委員会記録

1. 開催日時 令和6年3月5日（火） 午後6時50分
2. 場 所 市議会第3委員会室
3. 出席委員 田村委員長・松岡副委員長・重廣委員・重村委員・吉津委員・
有田委員・早川委員・西村委員・田中委員
4. 委員外出席議員 南野議長
5. 欠席委員 なし
6. 執行部出席者 別紙のとおり
7. 議会事務局職員 岡田局長・釧物次長
8. 協議事項
3月定例会本会議（2月27日）から付託された事件（議案3件）
9. 傍聴者 1名
10. 会議の概要
 - ・ 開会 午後6時50分 閉会 午後7時10分
 - ・ 審議の経過及び結果
(別紙のとおり)

上記のとおり相違ありません。

令和6年3月5日

総務産業常任委員長

田村大治郎

記録調製者

釧物伸次

田村委員長 皆様長時間にわたりお疲れ様です。本日の出席委員については委員 9 人であり、定足数に達しておりますので、ただ今から、総務産業常任委員会を開会します。最初に、委員並びに執行部の皆様に申し上げます。委員会において発言しようとする場合は、挙手をして「委員長」と呼び、委員長の許可を得てから発言していただくよう、お願いします。委員におかれましては、関連する質疑がある場合は「委員長・関連」と呼び、続けて行われますようお願いいたします。また、質疑及び答弁については、一問一答方式によりできるだけ簡明に行われますようお願いいたします。それでは、これより、本委員会に付託されました議案 3 件について、審査を行います。はじめに、議案第 10 号「令和 6 年度長門市湯本温泉事業特別会計予算」を議題とします。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

堀経済観光部長 長門市湯本温泉事業特別会計当初予算については、予算書 279 ページから 288 ページになりますが、第 1 款「温泉費」における予算額は、1,385 万 7 千円と、令和 5 年度当初予算額と比較すると、2,040 万 4 千円の減となっております。この主な要因は、泉源及び配湯センターに設置のポンプについて、令和 5 年度当初予算では対応年数を経過した全ポンプ等施設更新を行うこととしておりましたが、改めて専門事業者の状態確認により、計画的に更新することといたしまして、令和 6 年度は、前年度未実施のポンプ 2 台の更新を行うこととしたことによるものです。以上で、補足説明を終わります。

田村委員長 以上で補足説明は終わりましたので、これより質疑を行います。ご質疑はありますか。

重村委員 それではですね予算書 282 ページ。歳入の部分です。1 項「使用料」1 目「利用料」でございます。526 万 2 千円と、本年度予算計上されておりますが、この根拠についてお尋ねをいたします。

上田観光政策課長補佐 来年度の配当利用料の算定の根拠ですけれども、今年度の実績により算定しておるところでございます。その影響があるのがですね、令和 5 年 11 月からですね、一部の旅館の配湯が終了したことが減額の影響だろうと考えております。

重村委員 それとですね同目の利用料のところですね、説明を見ると滞納繰越分千円ということで枠取りのような形でですねしてあります。本当に滞納繰越分がない場合は、こういう記載の方法はないだろうと思うんですけども、この滞納繰越分千円という予定のが本来はあるんじゃないかなというのと、僕は思うんですけど、ここをどうなんですか。枠取り千円。(雑談あり) 現年分っていうのは 6 年度このくらい配湯利用料は頂けるだろうと、配湯するだろうとい

うことで 562 万 1 千円ですよね。526 万 1 千円。滞納繰越分の千円が入ってくるというのは、だから枠取りでよく記載されることはありますよ。千円っていうのは枠取りのために。だけど、滞納繰越分の枠どりで、千円にするっていうのは滞納繰越分というのは極端に言ったら、もう現にその滞納があるからこそね。例えば 2 万円ありますよとか。そうでしょ。この記載は僕はちょっと頓珍漢じゃないかなと思うんで説明を受けようと思って質疑をしています。

上田観光政策課長補佐 たしかに、令和 5 年度中に滞納繰越分、繰越額っていうのが残っておりましたので、そのためのですね、収入があった場合の枠取りという形になるかと思います。

重村委員 ちょっと理解力が悪いから令和 5 年度中に滞納が発生したときのための枠取り。5 年度中でしょ。だって 6 年のこれ予算だから。5 年度中に、5 年度はまだ閉めていないわけでしょう。だからその間に発生したときの枠取りということ。

上田観光政策課長補佐 令和 5 年度中だけでなくですね、令和 5 年度中にすでに滞納繰越分がございますので、それが令和 6 年度中に収入があった場合のための枠取りになります。

重村委員長 あくまでも滞納繰りだから令和 5 年度に限らず 4 年度中から 1 件あると思うんですよね。閉鎖したところが、処理が行ってないかどうか、僕はちょっと詳しくわかんないけどそういうのは。ここには、例えば 25 万 6,000 円ほどありますよっていう記載がきちんとされて、頂く、回収するっていうのが大前提の中で、決算時に不納欠損という形でね、処理もされたら、回収ができませんでしたということで、不納欠損というところに載ってくるはずなんですよね。決算処理。だからこの時点では枠取りっていうよりもあくまでも回収する予定だということで僕は記載がないとおかしいと思うんだけど。違いますかね、僕の認識が違う。

田村委員長 担当課にお尋ねしますけれども、確認が必要でありましたら、暫時休憩いたしますけれどもどうでしょうか。（雑談あり）それでは、暫時休憩したいと思います。何分程度、10 分程度必要ですか。5 分で大丈夫ですか。（「大丈夫です」と呼ぶ者あり）では、5 分休憩して、再開を 19 時 5 分からにしたいと思います。暫時休憩します。

— 休憩 18 : 59 —

— 再開 19 : 03 —

田村委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。それでは担当課、ご答弁お願いします。

弘中観光政策課長 すみません、お時間取って申し訳ありません。ご質疑のほうにお答えをいたします。こちらの滞納繰越分につきましては、枠的な部分の数字でございます。先ほどのときは、前年度の繰越分とか、現年分で、今年度現年分について、もしも最悪、収入ができなかった場合の、来年度繰り越して入れるための枠的なものでございます。ですから、例えば 2 万 5,000 円残っちゃったから、2 万 5,000 円の枠を作っちゃけよっていう、そうすると、先ほどおっしゃったように、取る気がないのかというふうな話になるっていう意味ではなくて、枠的なものでこちらのほうに準備をしているというものでございます。

重村委員 補足説明でポンプ 2 台ほど、令和 6 年度のところで交換するということを、説明を受けました。ポンプの交換時期についてお尋ねいたします。いつぐらい。

上田観光政策課長補佐 ポンプの交換時期は明確にはまだ決まっておりませんが、次年度入りまして、そういう検討をしながら、決めていきたいと考えております。

田村委員長 ほかに、ご質疑はございませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）今一度、議案第 10 号の全般にわたりご質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）ご質疑もないので、質疑を終わります。討論を行います。ご意見はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）ご意見もないので、討論を終わります。採決します。議案第 10 号について、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。挙手多数です。よって、議案第 10 号は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。ここで説明員入れ替えのため暫時休憩します。委員の皆さんは自席で待機をお願いします。

— 休憩 19:03 —

— 再開 19:05 —

田村委員長 休憩前に引き続き会議を始めます。次に、議案第 24 号「長門市漁港土砂採取料等徴収条例及び長門市漁港管理条例の一部を改正する条例」を議題とします。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

堀経済観光部長 「長門市漁港土砂採取料等徴収条例及び長門市漁港管理条例の一部を改正する条例」については、議案参考資料の 10 ページのとおりでございます。特に補足説明はございません。

田村委員長 補足説明はないようですので、これより質疑を行います。ご質疑はありますか。

重廣委員 これは上位法の改正により、文言が変わったということであろうと思うんですが、この改正によりまして、市民並びに、この漁場整備ですから漁業

関係者、また海上土木と言いますか、あの辺りの方に直接影響があるようなものがあるかどうか、それだけ伺います。

角谷農林水産課長 基本的に影響のあるものはないというふうに判断しております。

田村委員長 ほかに、ご質疑はございませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）今一度、議案第 24 号の全般にわたり、ご質疑はありませんか。ご質疑もないので、質疑を終わります。討論を行います。ご意見はありませんか。ご意見もないので、討論を終わります。採決します。議案第 24 号について、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。挙手多数です。よって、議案第 24 号は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。最後に、議案第 27 号「長門市農村婦人の家条例を廃止する条例」を議題とします。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

堀経済観光部長 「長門市農村婦人の家条例を廃止する条例」につきましては、議案参考資料の 13 ページに廃止の趣旨等を記載しておりますが、先の質疑にお答えしたとおり、その利用者数が減少し、老朽化が進む中で、現在の利用者には理解頂き、代替施設を調整し、その上で本施設を廃止することに伴い、条例の廃止を提案するものです。以上で、補足説明は終わります。

田村委員長 以上で、補足説明は終わりましたので、これより質疑を行います。ご質疑はありませんか。

重村委員 予算のところでも、アスベスト等の調査があるということで、解体に向けて動かれるであろうと思うんですけど、解体まではもう少し時間がかかるかというふうな説明を頂きました。この条例を廃止して、使わない施設として管理を一時していかないといけないということになろうかと思います。立入り等の観点を含めてどんな管理をしていられるのかお尋ねをいたします。

角谷農林水産課長 基本的にはもう建物に対しては施錠しまして、誰も立ち入ることができないという形で対応するようにしようと考えております。

田村委員長 ほかに、ご質疑はございませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）今一度、議案第 27 号の全般にわたり、ご質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）ご質疑もないので、質疑を終わります。討論を行います。ご意見はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）ご意見もないので、討論を終わります。採決します。議案第 27 号について、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。挙手多数です。よって、議案第 27 号は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。以上で、本委員会に付託された議案の審査は終了しました。これで総務産業常任委員会を閉会します。どなたもお疲れさまでした。